

ネットワーク管理製品 / 価格一覧

NetEyemanagerシリーズ

区分	製品名称	型名	標準価格(税別)	備考
運用管理	NetEyemanager / QIP1000 V5.0 (1000ノード)	NF133C12	¥1,848,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(1,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP2000 V5.0 (2000ノード)	NF133C22	¥3,304,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(2,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP5000 V5.0 (5000ノード)	NF133C32	¥7,700,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(5,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP10000 V5.0 (10000ノード)	NF133C42	¥14,700,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(10,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP20000 V5.0 (20000ノード)	NF133C52	¥26,460,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(20,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP50000 V5.0 (50000ノード)	NF133C62	¥55,160,000	DHCPサーバと連携したIPアドレス管理(50,000ユーザー用)
	NetEyemanager / QIP V5.0 1,000ノード追加	NF133CX2	¥1,848,000	NetEyemanager / QIPに1,000ユーザーのライセンスを追加
	NetEyemanager / VoIP V01(100内線用)	NB148071	¥500,000	VoIPの電話番号管理を行うソフトウェア(100内線まで)
	NetEyemanager / VoIP V01(100内線追加ライセンス)	NB148081	¥400,000	NetEyemanager / VoIP V01に100内線のライセンスを追加
	NetEyemanager / VoIP 呼数制御オプション V01	NB148101	¥300,000	事業所間の呼数を制御して音声品質を保証

GeoStream NetWatcher

区分	製品名称	型名	標準価格(税別)	備考
トラフィック計測・監視	マネジメントソフトウェア	NB13001001	¥1,800,000	ネットワークの状態表示 / 解析ソフトウェア1ライセンスにつき、センサ装置16台まで管理可能
	センサ装置	LMP100A	¥1,000,000	10 / 100BASE-TXネットワークのデータ収集装置、監視対象のセグメントに設置
	全二重タップ	LFH-CT01	¥100,000	100Mbps全二重通信でのデータ採取時に使用
	全二重タップ取付金具	LFH-CTR	¥30,000	全二重タップLFH-CT01をラック搭載機構へ取付けるための金具
	ラック搭載機構	LSF200RU	¥25,000	センサ装置LMP100Aを19インチラックへ搭載するためのオプション

光ファイバケーブル選択のポイント

光ファイバケーブルは、規格の違いやコネクタ、工事条件などによりさまざまな種類が用意されています。ここでは、これらの選択のポイントについて説明します。

光ファイバの伝送モードについて

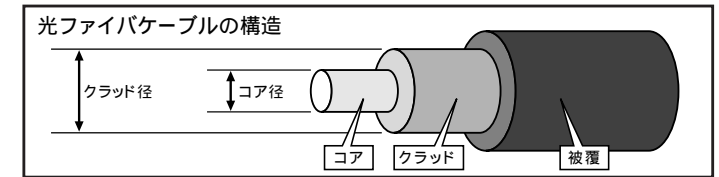
光ファイバケーブルは、シングルモード(SM) / マルチモード(GI)の二種類の伝送モードがあり、それぞれ用途 / 使用機器などに合わせて選択します。SM型の光ファイバは、遠距離伝送向けの伝送モードです。また、GI型は、伝送距離こそSM型に劣りますが、比較的安いコストで導入が可能です。

伝送モード	10M光レピータ	FDDI	100BASE-FX	1000BASE		ATM
				SX	LX	
マルチモード	GI(短波長)					
	GI(長波長)					
	GI(ダブルウィンドウ)					
シングルモード	SM(長波長)					

ダブルウィンドウケーブルは、短波長 / 長波長の両方に対応するケーブル

GI型ケーブルのコア径 / クラッド径

光ファイバケーブルの構造は、通信データを伝送する部分(コア)と、その周りを囲む部分(クラッド)の2層からなっています。GI型光ファイバでは、このコア径の規格が二種類あるため、それに合わせた光ファイバ / 機器を選択します。
富士通製のネットワーク機器は50μmのコア径の光ケーブルが標準となっています。

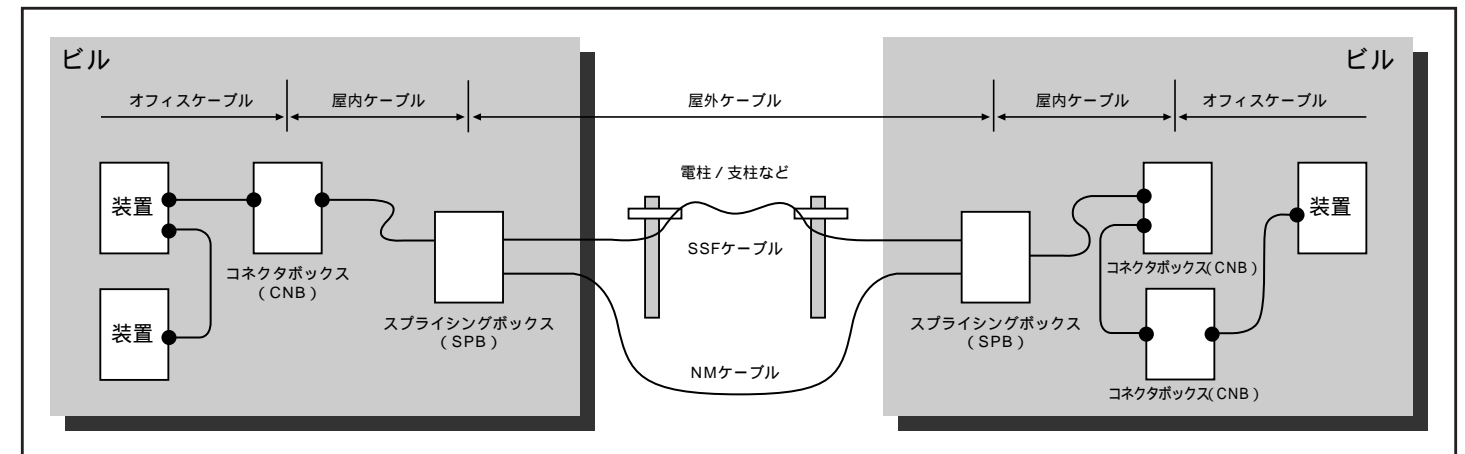


	クラッド径	コア径	長波長	短波長	内容
マルチモード	125 μm	50 μm			国際標準、国内で用いられることが多い
		62.5 μm		×	国際標準、米国などの輸入機器に多い
シングルモード		10 μm		×	シングルモードは1種類のみ

ケーブルの用途

富士通では、設置条件に合わせた光ファイバケーブルをご用意しています。設置する場所などに合わせて最適なケーブルを選択してください。

ケーブル種別	用途・特長	
オフィス用ケーブル	機器間の接続に用いる。通常、両端にコネクタがついている。	
屋内用ケーブル	通常、屋外ケーブルの屋内引き込みに用いられる。用途によりコネクタが付けられたりする。	
屋外用ケーブル	SSFケーブル	屋外に設置するケーブル。ワイヤにより補強されたケーブルで、空中配線に使用する。
	NMケーブル	屋外に設置するケーブル。地中、ダクト内など、屋外の一般的な敷設に使用する。



ケーブルの芯数

光ファイバケーブルは、基本的に2芯を一組で使用します。特に長距離での敷設時などは、ケーブル障害や増設の可能性などを考慮して、予備の芯を確保しておくことをおすすめします。